

平成24年度フォローアップ結果のポイント

計画期間；平成20年7月～平成26年3月(5年9月)

1. 概況

基本計画掲載事業58事業のうち24事業が完了、30事業が実施中、4事業が未着手である。

公共事業では、平成24年7月に「文化・交流拠点地区」内のホールや図書館、広場等が新たに整備されるとともに、JR黒崎駅と同地区を結ぶ「黒崎駅前線(ふれあい通り)」も同時に供用開始され、多くの来訪者に利用されている。

また、平成25年4月には多くの市民が早期再生を望んでいた「コムシティ」がオープンするほか、「黒崎駅ペDESTリアンデッキ」の整備を着実に進めている。

民間事業では、「文化・交流拠点地区」内において、平成24年8月にシニアマンションが、同年10月には生活利便施設が完了するとともに、分譲マンションは、共同住宅の支援制度を活用し、早期完成を目指して整備を進めている。

また、これらの大規模施設整備に加え、回遊性の向上を図る取組や商店街の魅力を発信するイベント等、地域が一体となって商業活性化に向けた取組を進めている。

こうしたことから、目標指標として設定している居住人口は目標値を超えて増加し、歩行者通行量は減少傾向から増加に転じて基準値を上回る等、まちの賑わいが戻りつつある。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
来街者で賑わうまち (集客と回遊性の強化)	中心市街地における歩行者通行量	20,164 人/日 (H19 年)	27,000 人/日 (H25 年度)	20,933 人/日 (H24 年度)		
住みたい・住み続けたいまち (定住人口の増進)	中心市街地内の居住人口	5,689 人 (H19 年)	6,300 人 (H25 年度)	6,411 人 (H24 年度)		
経済活力のあるまち (商業の活性化)	中心市街地の小売業年間商品販売額	43,500 百万円 (H19 年度推計値) 40,407 百万円 (H19 年度実測値)	48,700 百万円 (H25 年度)	36,211 百万円 (H21 年度) H22 年度報告値		-
	中心商店街ゾーンの空き店舗率	21% (H19 年)	16% (H25 年度)	18.8% (H24 年度)		

注) 取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

「中心市街地における歩行者通行量」は、主要事業である「文化・交流拠点地区」のホールや図書館が平成24年7月に開設したことで、文化・交流拠点地区周辺の歩行者が大幅に増加したため、最新値は基準値を上回ったものの、目標値には達していない。

また、平成25年4月にオープンする「コムシティ」については、昨今の厳しい経済状況の中、早期再生の実現を目指した結果、民間による商業施設から「公共公益的施設を中心とした複合型施設」として再生することとし、商業床の面積が縮小した。今後、八幡西区役所等の公共公益的施設が開庁することで、大幅な就業人口等の増加が見込まれるものの、当初に見込んだ来街者数には及ばない等、厳しい状況が予想されるため、このままでは計画期間内での目標達成が可能とは見込まれない。

「中心市街地内の居住人口」は、ホールや図書館等の文化・教育施設をはじめ、道路や河川、公園等の基盤整備が概ね完了するとともに、地区周辺を含めてスーパー等の生活利便施設の建設が進んだことから、中心市街地の居住環境が向上して街なか居住が順調に促進されたため、昨年度に目標値を上回り、今年度も引き続き増加傾向にある。

「中心商店街ゾーンの空き店舗率」は、「空き店舗賃借料補助制度の拡充」等、空き店舗の解消に向けた各種取組が概ね予定通りに進んでいることから、今年度も最新値が基準値に比べて改善したものの、依然として厳しい経済状況が続く中で最新値が前年度よりも後退し、今後もその傾向が続くことが予想されるため、このままでは計画期間内での目標達成が可能とは見込まれない。

4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

「中心市街地における歩行者通行量」について、前回フォローアップでは、主要事業である「文化・交流拠点地区」や「コムシティの再生」が完了していなかったことから、減少傾向が改善されなかったものの、今後、これらの主要事業が完成して来街者数が増加することや、その効果を高めるため回遊性の向上に資する各種取組を積極的に行うことで、目標達成は可能であると見込んでいた。

今回のフォローアップでは、コムシティの効果見込みが当初見込みと異なったため、見通しを変更した。しかしながら、主要事業である「文化・交流拠点地区」のホールや図書館が平成24年7月に開設したことで、当該地区周辺の歩行者が大幅に増加したため、最新値は基準値を上回った。今後、厳しい状況が予想されるものの、八幡西区役所等の公共公益的施設の開庁による就業人口の増加が見込まれること等から、引き続き目標達成に向けて各種取組を行っていく。

「中心商店街ゾーンの空き店舗率」について、前回フォローアップでは、空き店舗の解消に向けた各種取組により順調に改善していたことから、目標達成は可能であると見込んでいた。

今回フォローアップでは、地区周辺において商機能が変化したことや、中心市街地内における回遊性の取組効果が見込み通りではなかったこと等から、見通しを変更した。しかし、最新値が基準値に比べて改善されており、全体としての効果が見られることから、引き続き目標達成に向けて各種取組を行っていく。

5. 今後の対策

平成24年7月に「文化・交流拠点地区」のホールや図書館がオープンした。

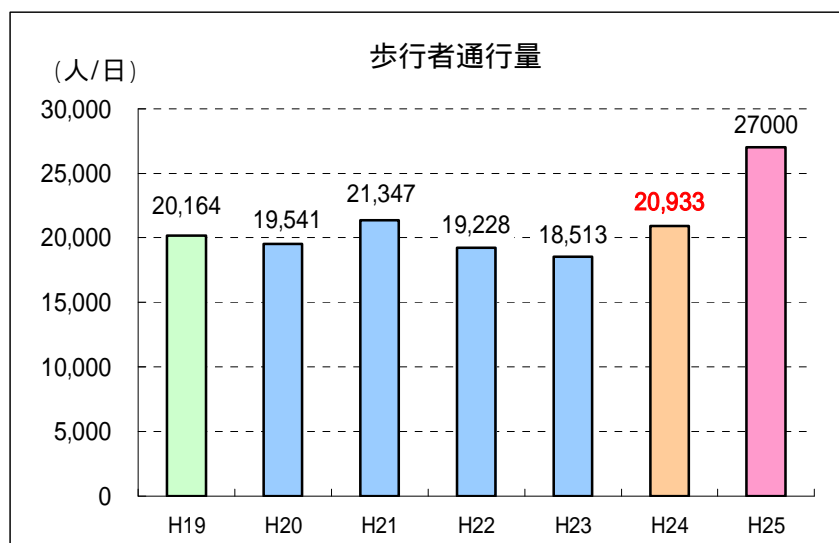
また、平成25年4月には「コムシティ」がオープンし、同年5月にはそのコムシティ内に八幡西区役所が移転・開庁する。これにより、地区内の中核となる施設整備が概ね完了することになる。

今後は、これらの事業効果を早期に発現させるため、中心市街地活性化協議会を中心に、更なる事業間の調整や連携を行うとともに、事業進捗のために強化したマネジメント体制を持続させることで、現在の取組を着実に進めながら中心市街地の活性化を図るため、目標の達成に向けた対策を講じる。

・目標毎のフォローアップ結果「来街者で賑わうまち(集客と回遊性の強化)」

「中心市街地における歩行者通行量」 目標設定の考え方は基本計画 P64～P71 を参照

1. 調査結果の推移



年	人/日
H19	20,164 (基準年値)
H20	19,541
H21	21,347
H22	19,228
H23	18,513
H24	20,933
H25	27,000 (目標値)

調査方法; 実測数の3日間平均

調査月; 10月中旬

調査主体; 北九州市

調査対象; 商業集積エリア内の10ヶ所における歩行者通行量(9時～19時)

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・子どもの館リニューアル事業(北九州市)

事業完了時期	【済】平成21年4月
事業概要	本事業は、開館6年を迎え「子どもの館」のより一層の子育て機能の強化を図るため、一部施設のリニューアルを行う事業である。
事業効果又は進捗状況	平成21年4月にリニューアルオープンした後は、リニューアル効果や指定管理者導入の効果等により、年間入館者数は増加傾向にある。

・黒崎地区賑わい交流機能の整備(北九州商工会議所)

事業完了時期	【済】平成21年度～平成23年度
事業概要	本事業は、商店街内の空き店舗を活用して、チャレンジショップ、休憩所、トイレ、カフェ、案内所、商業者サポート、会議室、事務所等の機能を複合的に整備・運営するものである。
事業効果又は進捗状況	スイーツに特化したチャレンジショップやトイレ、休憩スペース、授乳室などの利便施設を備えた「スイーツの駅96カフェ」が、平成21年11月にオープンした。 専門家の技術・経営指導等の支援を受けながらチャレンジショップに入居していた6名のうち、2名が支援終了後に地区内で新規開業した。

・イベントスペース運営事業(黒崎連合商店街振興組合、北九州市)

事業完了時期	【済】平成21年度～平成23年度
事業概要	本事業は、商店街内の空き店舗を活用して、全国各地の物産展の開催や多様な地域イベントを実施するスペースを運営するものである。
事業効果又は進捗状況	雇用創出のための支援制度を活用して、全国各地の物産展等を開催するイベントスペースを平成21年11月にオープンし、地域活性化イベント等を開催してきた。事業は、平成23年度で終了となったが、商店街の賑わいづくりに一定の役割を果たした。

・黒崎副都心賑わいづくり推進事業(実行委員会)

事業完了時期	【実施中】平成17年度～
事業概要	地元まちづくり団体や商店街、大型店等が主体となって実施するイベントや魅力づくり等の賑わいづくり活動に対して支援する事業である。
事業効果又は進捗状況	地元の商店街、自治会、まちづくり団体で構成された「黒崎宿にぎわいづくりの会」を主体として、年4回のイベントを開催している。 平成23年度のイベント集客数は10.3万人であった。平成24年度も引き続きイベントを開催し、集客数は約6.5万人であり、歩行者通行量の増加に寄与した。

・文化・交流拠点地区(図書館・ホール)、(広場・緑地等)の整備(北九州市)

事業完了時期	【済】平成24年度
事業概要	本事業は、旧九州厚生年金病院跡地等を活用して、文化・交流機能の集積を図るためホールと図書館を整備するとともに、市民が憩い集える広場・緑地等を整備するものである。
事業効果又は進捗状況	平成22年8月より工事に着手し、平成24年7月にオープンした。

・黒崎駅前線・黒崎駅前線(岸の浦工区)(北九州市)

事業完了時期	【済】平成3年度～平成24年度
事業概要	本事業は、中心市街地のシンボルロードとして、黒崎駅と文化・交流拠点を結ぶ重要な回遊軸として、交通の円滑化と歩行者空間の快適化を図るものである。
事業効果又は進捗状況	文化・交流拠点地区がオープンした平成24年7月に合わせて供用開始した。

・黒崎駅ペDESTリアンデッキ整備(北九州市)

事業完了時期	【実施中】平成21年度～平成25年度
事業概要	本事業は、建設から25年以上が経過し、老朽化が進んでいるペDESTリアンデッキの長寿命化対策に合わせ、本市の副都心として相応しい景観整備を行うもの。
事業効果又は進捗状況	平成24年7月の文化・交流拠点地区のオープンに合わせ、一部の施設を除いて供用を開始し、現在も整備を進めている。

・コムシティの再生(北九州市)

事業完了時期	【済】平成24年度
事業概要	本事業は、平成15年に閉鎖された再開発ビルの商業施設部分を、人づくり支援機能、広域行政サービス機能、生活利便機能を担う複合施設として再生するもの。
事業効果又は進捗状況	昨今の厳しい経済状況により民間での再生が遅れていたが、市が民間所有の商業床等を取得するとともに改修工事を行い、平成25年4月にオープンする。

3.目標達成の見通し及び今後の対策

「中心市街地における歩行者通行量」は、主要事業である「文化・交流拠点地区」のホールや図書館が平成24年7月に開設したことで、文化・交流拠点地区周辺の歩行者が大幅に増加したため、最新値は基準値を上回ったものの、目標値には達していない。

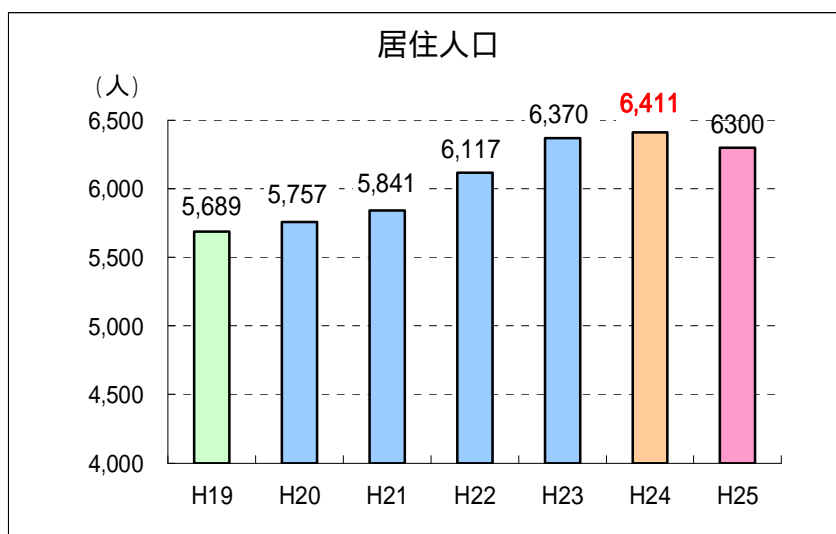
また、平成25年4月にオープンする「コムシティ」については、昨今の厳しい経済状況の中、早期再生の実現を目指した結果、民間による商業施設から「公共公益的施設を中心とした複合型施設」として再生することとし、商業床の面積が縮小した。今後、八幡西区役所等の公共公益的施設が開庁することで、大幅な就業人口等の増加が見込まれるものの、当初に見込んだ来街者数には及ばない等、厳しい状況が予想されるため、このままでは計画期間内での目標達成が可能とは見込まれない。

今後も引き続き、地区内のにぎわいづくりに資する取組を着実に進める等、事業効果を早期に発現させる対策を講じる。

・目標毎のフォローアップ結果「住みたい・住み続けたいまち(定住人口の増進)」

「**中心市街地の居住人口**」 目標設定の考え方は基本計画 P73～P77 を参照

1. 調査結果の推移



年	人
H19	5,689 (基準年値)
H20	5,757
H21	5,841
H22	6,117
H23	6,370
H24	6,411
H25	6,300 (目標値)

調査方法； 住民基本台帳の町別集計

調査月； 9月下旬

調査主体； 北九州市

調査対象； 基本計画区域内

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・中心市街地における共同住宅供給の促進(北九州市)

事業完了時期	【実施中】 平成20年度～平成25年度
事業概要	本事業は、中心市街地において質の高い住宅供給を促進するために、認定を受けた中心市街地活性化基本計画の区域内で行われる良質な住宅系プロジェクトに対し、各種支援策の活用を図り、民間事業を推進するものである。
事業効果又は進捗状況	第1号認定及び第2号認定の共同住宅が、平成22年3月、平成23年3月にそれぞれ完成し、現在、入居状況は概ね良好である。 また、平成23年9月に第3号、平成24年5月に第4号、平成24年6月に第5号の認定を行い、現在、建築工事が進んでいる。

・まちのルールづくり(黒崎商店組合連合会)

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	本事業は、黒崎の商店街について、業種・業態や建築物・広告物等のハード面のルールや、清掃の徹底、呼び込みの規制等による環境保全に関するソフト面の協定等、まちのルールづくりを行うものである。
事業効果又は進捗状況	黒崎商店組合連合会が、自治会や警察等の幅広い関係者と共に平成21年12月に「まちのルール」を策定し、現在、推進・啓蒙活動を進めており、街なか居住の魅力向上に寄与している。

・黒崎中央公園・蛸原公園整備事業(北九州市)

事業完了時期	【済】平成23年度
事業概要	本事業は、利用者が減少した公園を、商業者や地域住民等との合意形成を図りながら、活性化に向けたまちづくりに寄与する公園として再整備を行うものである。
事業効果又は進捗状況	商業者や地域住民とのワークショップにより基本計画を策定し、蛸原公園は平成23年5月、黒崎中央公園は平成23年1月にそれぞれリニューアルオープンした。

・文化・交流拠点地区(民間収益施設)整備

事業完了時期	【実施中】平成20年度～平成25年度
事業概要	本事業は、文化・交流拠点地区内に整備する図書館・ホール等と併せて、シニアマンション等の共同住宅や生活用品を提供する利便施設を整備するものである。
事業効果又は進捗状況	図書館やホールのオープンに合わせ生活利便施設とシニアマンションが竣工しており、現在、共同住宅の建築工事が進められている。

・子どもの館リニューアル事業【再掲P.4参照】

・文化・交流拠点地区(図書館・ホール)、(広場・緑地等)の整備【再掲P.5参照】

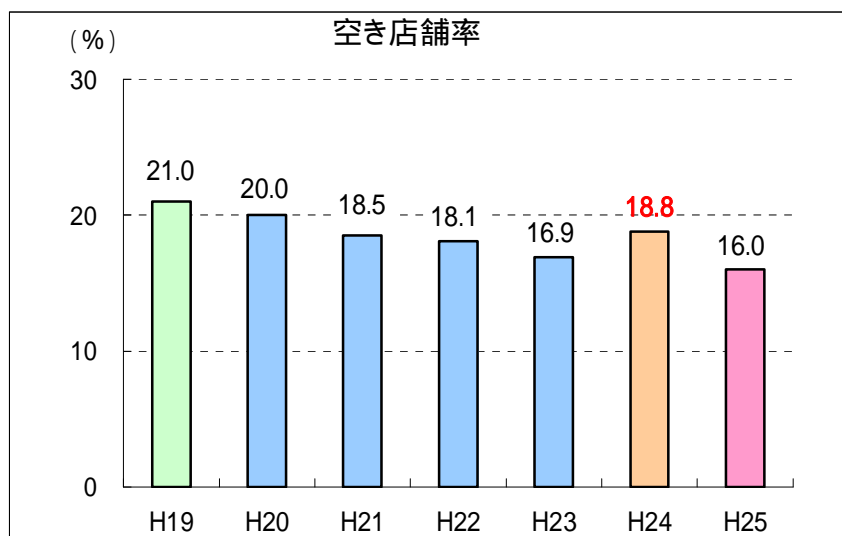
3.目標達成の見通し及び今後の対策

「中心市街地内の居住人口」は、ホールや図書館等の文化・教育施設をはじめ、道路や河川、公園等の基盤整備が概ね完了するとともに、地区周辺を含めてスーパー等の生活利便施設の建設が進んだことから、中心市街地の居住環境が向上して街なか居住が順調に促進されたため、昨年度に目標値を上回り、今年度も引き続き増加傾向にある。

今後も引き続き、基本計画に位置付けた事業のうち居住環境の向上に資するハード及びソフト事業を着実に進める。

「中心商店街の空き店舗率」 目標設定の考え方基本計画 P85～P89 参照

1. 調査結果の推移



年	%
H19	21.0 (基準年値)
H20	20.0
H21	18.5
H22	18.1
H23	16.9
H24	18.8
H25	16.0 (目標値)

調査方法; 実地調査

調査月; 毎年9月

調査主体; 北九州市

調査対象; 中心商店街ゾーン

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・空き店舗賃借料補助制度の拡充(北九州市)

事業完了時期	【実施中】平成20年度～
事業概要	本事業は、商店街の空き店舗を活用しようとする意欲ある者に対して賃借料の一部を補助する制度である。
事業効果又は進捗状況	平成23年7月より、市内全域を対象に補助率を引き上げたのに加え、地区内の新規開業者に対しては、限度額を上乗せし、中心商店街での新規開業を推進している。

・黒崎地区商業ベンチャー育成事業(北九州商工会議所)

事業完了時期	【済】平成18年度～平成24年度
事業概要	本事業は、商業における優れたビジネスプランを有する起業希望者が黒崎駅前商店街の空き店舗を活用する場合に、賃借料の一部補助や、経営指導等の支援を行うものである。
事業効果又は進捗状況	基本計画開始から計6店舗の起業家に対して支援を実施し、空き店舗の減少に寄与した。

. 黒崎地区賑わい交流機能の整備(北九州商工会議所)【再掲P. 4 参照】

. イベントスペース運営事業(黒崎連合商店街振興組合、北九州市)【再掲P. 5 参照】

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

「中心商店街ゾーンの空き店舗率」は、「空き店舗賃借料補助制度の拡充」等、空き店舗の解消に向けた各種取組が概ね予定通りに進んでいることから、今年度も最新値が基準値に比べて改善したものの、依然として厳しい経済状況が続く中で最新値が前年度よりも後退し、今後もその傾向が続くことが予想されるため、このままでは計画期間内での目標達成が可能とは見込まれない。

今後も引き続き、改善に向けた取組を着実に進める等、目標達成に近づける対策を講じる。